

# 今月の一言

## キーワード：オバマ大統領就任演説

2009年1月20日のアメリカ合衆国大統領就任式を経てバラク・オバマが正式に第44代大統領に就任した。オバマは建国以来初めてのアフリカ系アメリカ人（アフリカ系と白人との混血）の大統領、ハワイ州生まれの初の大統領、初の1960年代生まれの47歳、建国以来5番目に若くして就任しました。

オバマ大統領は演説で「責任を果たすべき新たな時代だ」と訴え、米国民一人一人が米国だけでなく世界にも義務を負っているとの認識を共有するよう求めた。政府と国民が一体となり「大国」の責任として、国際問題に積極的に関与していきたい意向を示した。

就任演説のポイントの中でも下記の言葉が印象的です。

- ・過去に固執し、狭い利益しか守らない時代は終わった
- ・恐れより希望、争いのかわりに団結を
- ・政府の大小ではなく、機能しているかが問題
- ・多様な出自は強みで、弱みではない
- ・貧しい国々の人々と一緒に汗を流す
- ・政府の能力や義務は国民の信念と決意が決定する
- ・希望と美德で（困難に）勇敢に立ち向かう

お互いを信頼し、信頼される行動で  
全員で厳しい2009年 Yes we can。

2009年1月23日  
さいのう とおる

追伸：風邪・インフルエンザが流行しています。

うがい・手洗い・マスク・睡眠等、各自体調管理を十分お願いします。